

<白金標準、10561 円の抵抗を上回れるかが注目点・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領がホルムズ海峡封鎖の解除を前提としない停戦の可能性に言及した事や、イラン大統領が条件付きで停戦の意思を示すなど緊張が和らぐ動きを見せている。またパウエル FRB 議長は、ハーバード大学の講演でエネルギー価格の上昇によるインフレへの差し迫った影響が和らぐ発言を行った事など、株価は落ち着きを見せながら米国債金利は低下するなど、市場はリスクの巻き戻しを見せている。そのため白金標準先物も 9000 円で下値抵抗を強めながら、一時 10070 円まで戻りを見せている。特にイラン戦争は、エネルギー価格の上昇を受け、自動車業界は水素への転換を強めるきっかけとなる可能性は強くなると思える。特に中国における電気自動車の衰退を考えると、水素自動車の開発が進むきっかけになる可能性は高く、需要の増加に結び付く動きに思える。

ただ目先は、イラン戦争の動向がカギとなるのは間違いなく、トランプ大統領が期限を決めた米国東部時間 6 日 PM8:00 (日本時間 7 日 AM9:00) にイランのエネルギー施設やインフラ施設への攻撃が行われた場合は、再度 9500 円を試す可能性は残るも、9500 円を維持する事が出来た場合は、リスクの巻き戻しが強まると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル** も切り上げている。RCI では**短期**が維持し、**長期**は切り上げている。ただ日足が平滑移動平均線のレンジを上回するには至っていない事から離脱を待つ動きに思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 10,685,000 円(2026 年 4 月 6 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 105,600 円(2026 年 4 月 6 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>